カメラ

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。


カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。

カメラの使いかた

● カメラモードにするには

①「カメラボタン設定」を「静止画撮影」、「動画撮影」に設定しているとき、待受画面表示中に [カメラ] を押す
②「クイックボタン設定」を「静止画撮影」、「動画撮影」に設定しているとき、待受画面表示中に QUICK を押す
③ メインメニューの「カメラ／TV／MUSIC」、シンプルメニューから「カメラ」を選択する

- はじめて「クイックショット」、「ムービー」、「スピードムービー」を起動するときは、カメラモードに関する説明が表示され、それぞれのカメラモードで起動します。説明内容をよくご確認の上、ご利用ください。
- 静止画撮影と動画撮影のそれぞれにおいて、前回起動したときのカメラモードで起動します。
- 約3分以上ボタン操作をしなかったときは、自動的にカメラモードを終了します。
- 撮影中もしくは録画中に電池切れになった場合は、未保存のフォトもしくはムービー／ボイスを保存することができます。

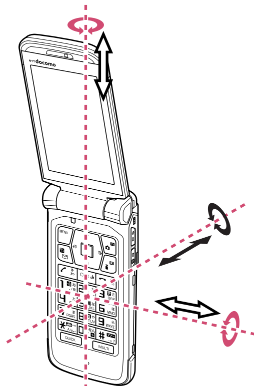
● 接写について

- ごく近くにある被写体を撮影したいときは、「オートフォーカス」で「接写」（P.237）を選択してください。レンズとの距離が約10cmの被写体にピントが合います。

● 手ブレ補正機能について

本FOMA端末は、手ブレ補正機能を搭載しています。静止画撮影や動画撮影をするとき、以下の方向の手ブレを防止できます。

- 静止画の場合：6軸方向
- 画像サイズがQVGA以下の動画の場合：4軸方向
- 画像サイズがHD、VGA、ワイドの動画の場合：2軸方向（白色の矢印のみ）



※ 赤色の矢印は静止画のみ

手ブレ補正を設定する→P.234

カメラ利用にあたって

■撮影するときのご注意

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を閉じるときにレンズに力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。
- オートフォーカス撮影を行う際、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとは、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。

●撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
●カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
●シャッター音、セルフタイマーの開始音／カウント音、オートフォーカスロック完了音、自分撮りのアシスト音の音量を変更することや消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することはできません。
●手ブレ補正を「OFF」に設定している場合、撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく手ブレ補正を「オート」に設定して撮影することをおすすめします。
●静止画の撮影時にシャッター音が鳴ったあと、取り込みが完了するまで、FOMA端末が動かないようにしてください。
●室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。このようなときは、ご利用の地域の電源周波数にあわせて「ちらつき軽減」の設定を行うと、ちらつきを低減できる場合があります。
●撮影画面を表示したりカメラを切り替えたりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

■撮影認識ランプの点灯／点滅について

●撮影時などには以下のように点灯または点滅します。
- 撮影画面表示中：赤色で点滅
- 静止画撮影：赤色で点灯（約3秒間）
- 連続撮影：赤色で点灯（撮影中）
- 動画撮影、ボイスレコーダー録音、パノラマ撮影：赤色で点滅
- セルフタイマー作動中：青色で点滅→P.247
- 自分撮りで撮影：赤色で点灯／点滅→P.240

■撮影した静止画・動画などの保存について

●撮影した静止画や動画などは「保存先」で設定したフォルダに保存されます。
●「自動保存」を「ON」に設定すると、静止画や動画などを撮影後、自動的に保存できます。
●電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
●ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックを取り外したときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。

■撮影が中断されるとき

●着信（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信）やエリアメールの受信、アラーム通知（ワンセグ視聴予約、ワンセグ録画予約、アラーム、スケジュール）があったとき、ほかの機能の操作を行ったときには、撮影が中断されます。
- 連続撮影中や動画撮影中は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させると、カメラの画面に戻りますので、着信やアラーム通知などの前に撮影したデータを保存できます。
- カメラのズームや明るさを調節中は、調節中の設定が確定され、カメラメニューに戻ります。
- セルフタイマーは中止されます。

●以下の場合は中断されません。
- カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメール（エリアメールを除く）やメッセージR／Fを受信した場合は、「受信時動作設定」の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
- 「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しておくと、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。ただし、「ワンセグ録画予約」はカメラの撮影や設定、セルフタイマーを中断してアラーム通知を行います。

■microSDカードを使用するとき

●microSDカードへ保存中は「[SD]」が「[≑]」に変わります。このときは絶対にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
●「保存先」で「microSD」に設定して保存するときにmicroSDカードにフォルダが存在しない場合は、フォルダが自動的に作成されます。
●「保存先フォルダ選択」で選択したmicroSDフォルダのファイル数が最大件数のときは、そのフォルダに設定できません。→P.373

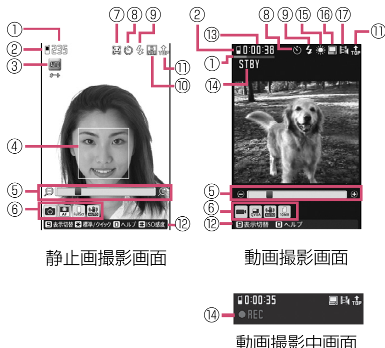
カメラモードのボタン操作

[MENU]：サブメニュー
[✉]：静止画⇔動画切替
[i]：メディアスビューアを起動
[■]：シャッター
[→]：ズーム（望遠）
[←]：ズーム（広角）
[↓]／[▼] [☼]：ライト
[↑]：オートフォーカスロックを実行
[CLR]：オートフォーカスロックを解除
※ オートフォーカスロック中のみとなります。
[1]～[8]：それぞれ以下のサブメニュー（P.233）を表示
[1]：カメラモード
[2]：シーン
[3]：オートフォーカス
[4]：サイズ
[5]：明るさ
[6]：手ブレ補正
[7]：ISO感度（静止画）／ファイルサイズ（動画）
[8]：その他
[9]：アイコン非表示⇔アイコン表示切替

[＊]：標準⇔クイックショット切替
[０]：ボタン操作の説明を表示
[＃]：ISO感度（押すたびに高感度→超高感度→ノーマルの順に切り替え）
※ カメラモードによっては表示されないサブメニューがあります。

撮影画面の見かた

撮影画面にはカメラの設定状態がアイコンで表示されます。各アイコンの意味は以下のとおりです。



静止画撮影画面　　動画撮影画面



動画撮影中画面

① 保存可能枚数／保存容量表示※1
 ：保存可能枚数
- 白文字：11枚以上
- 黄文字：10枚以下
- 赤文字：空きメモリなし※2

 ：全体容量に対する保存可能容量
- 青：残り500Kバイト以上
- 黄：残り500Kバイト未満
- 赤：空きメモリなし※2※3

※1 枚数および容量表示は目安です。また、保存先が「microSD」に設定されていて、microSDカードが挿入されていない場合は表示されません。
※2 撮影後に不要なデータを削除して保存、または保存先を変えて保存します。
※3「ファイルサイズ」を「無制限」に設定した場合は撮影できません。

② 保存先（P.235、236）
 ／ ／ ：保存先の設定状態（本体（カメラ）／本体（自動お預かり）／microSDカード）

③ 撮影モード表示（P.234）
フルスクリーン以上のカメラモードが「標準」、シーンが「オート」の静止画撮影のとき自動に検出されているシーン
- 撮影環境や被写体によっては、正しいシーンが検出されない場合があります。

非表示：シーン検出なし

 ：オート
 ：人物
 ：料理
 ：桜※
 ：紅葉※
 ：花※
 ：雪※
 ：夕焼け※
 ：夜景
 ：風景※
 ：ペット
 ：花火
 ：イルミネーション

※ ISO感度を「超高感度」、「高感度」に設定しているときは自動選択されません。

④ フォーカス枠（P.237）

 ：オートフォーカスの種別が「ノーマル」、「接写」のときのオートフォーカス枠
・白色：ピント調整前
・白い点線：ピント調整中
・緑色：ピント調整完了
・赤い点線：ピント調整失敗

 ：オートフォーカスの種別が「顔検出」のオートフォーカス枠
・灰色：複数の顔検出時、ピント調整しないフォーカス枠

 ：オートフォーカスの種別が「顔検出」で顔検出時のオートフォーカス枠
・白色：ピント調整中
・緑色：ピント調整完了
・赤色：ピント調整失敗

⑤ ズーム状態表示（P.247）
ズームの設定状態

⑥ サブメニュー（P.234）
サブメニューの各種設定状態

⑦ 顔選択モード（P.237）
 ：顔選択モードのとき

⑧ セルフタイマー（P.247）
 ：セルフタイマー設定中

⑨ ライト（P.247）
 ：ON
非表示：OFF

⑩ 画質（P.235）

S FINE: スーパーファイン

FINE: ファイン

NOR: ノーマル

⑪ 画面向き表示

TOP: 撮影方向を表示

⑫ ボタン操作ガイダンス

9 表示切替: 9 を押すごとにアイコンの表示／非表示を切り替えることを示すガイダンス

✱ 標準/クイック: ✱ を押すごとに「標準」と「クイックショット」が切り替わることを示すガイダンス

0 ヘルプ: 0 を押すとボタン操作の説明が表示されることを示すガイダンス

ISO感度: # を押すごとにISO感度が変更されることを示すガイダンス

⑬ 撮影時間

0:03:38: 動画撮影の残り時間（時：分：秒）

⑭ 撮影状態表示

● REC: 動画撮影中

STBY: 動画撮影待機中

PAUSE: 動画撮影一時停止中

⑮ ホワイトバランス（P.235）

非表示：オート

: 晴天

: 曇天

: 電球

: 蛍光灯

⑯ 画質／音質（P.236）

: 低品質

: 標準

: 高品質

: 最高品質

⑰ 記録種別（P.236）

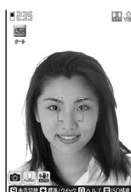
: 映像＋音声　　: 映像のみ

: 音声のみ

サブメニューの選択方法

サブメニューをディスプレイに表示すると、アイコンを選択するだけでさまざまな撮影条件を設定することができます。

各撮影画面



MENU

表示中のメニューと反転アイコンの説明



撮影画面で 1 ～ 7 を押すと、各ボタンに対応したサブメニューが直接表示されます。

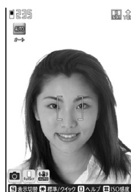
※ 本章での操作説明はこの方法で記載しています。





■［選択］を押し、反転したアイコン機能に設定します。

「8 その他」カメラの詳細設定



8

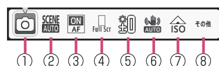


8 を押すと「その他」のサブメニューが表示されます。

で反転表示を移動して、■［選択］を押すことで、撮影条件を設定することができます。

● サブメニューのアイコンと設定内容

- 静止画撮影と動画撮影を切り替えるときには、✉を押してください。
- カメラモードによって選択できるサブメニューの項目が異なります。
  カメラモードを切り替えると、前回の利用したときの設定内容になります。
- メールなどほかの機能から呼び出したときなど、撮影条件によっては利用できないメニューがあります。



① カメラモード

静止画撮影

標準：→P.236

クイックショット：→P.240

自分撮り：→P.240

連写：→P.241

パノラマ：→P.242

スマイル：→P.243

動画撮影

ムービー：→P.245

スピードムービー：→P.246

② シーン

静止画撮影

オート：自動調整モード

人物：人物などの撮影に適したモード

風景：景色（夜景を含む）などの撮影に適したモード

逆光：逆光時の撮影に適したモード

スポーツ：動きのある被写体の撮影に適したモード

夜景：暗い所で人物などを撮影するのに適したモード

水中：水中での撮影に適したモード

ペット：ペットなどの被写体の撮影に適したモード

料理：料理などの撮影に適したモード

OFF：撮影効果を無効に設定

動画撮影

オート：自動調整モード

人物：人物などの撮影に適したモード

風景：景色（夜景を含む）などの撮影に適したモード

水中：水中での撮影に適したモード

※ クイックショットでは「オート」、「スポーツ」のみ設定できます。

※ 自分撮りでは「オート」、「人物」、「逆光」、「OFF」のみ設定できます。

※ 連写では「オート」、「人物」、「風景」、「逆光」、「スポーツ」、「水中」、「ペット」、「料理」、「OFF」のみ設定できます。

※ パノラマでは「オート」に固定されます。

※ スマイルでは「オート」、「人物」、「逆光」、「OFF」のみ設定できます。

③ オートフォーカス（P.237）

ノーマル：通常撮影向き

接写：接写撮影向き

顔検出：人物撮影向き

OFF：固定焦点撮影

④ サイズ

静止画撮影

～ ：8M（最大）（2,448×3,264）～QCIF（最小）（176×144または144×176）※1

／ ：480×480※2／240×240※2

：パノラマ（3,552×480）

※1 ISO感度を「高感度」、「超高感度」に設定しているときは、「2M（1,200×1,600）」と「フルスクリーン（480×854または854×480）」、自分撮り、スマイルでは「フルスクリーン（480×854または854×480）」以上のみ設定できます。

※2 ｉアプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

動画撮影

～ ：HD（1,280×720）～QCIF（176×144）

※ スピードムービーでは「QVGA（320×240）」に固定されます。

⑤ 明るさ

／／／／：画像の明るさ（+2／+1／0／－1／－2）

⑥ 手ブレ補正

オート（強）：手ブレを自動で強く補正

オート：手ブレを自動で補正

OFF：手ブレ補正を無効に設定

※連写、スピードムービー、ISO感度が「ノーマル」以外のときは「OFF」に固定されます。

※ムービーのときは「オート」「OFF」のみ設定できます。

⑦ ISO感度／ファイルサイズ

静止画撮影（ISO感度）

超高感度：さらに暗い場所でも撮影可能（～ISO25600）

高感度：より暗い場所でも撮影可能（～ISO3200）

ノーマル：暗い場所でも撮影可能（～ISO1600）

※ 連写、パノラマ、スマイルでは「ノーマル」に固定されます。
※ 自分撮りでは「高感度」、「ノーマル」のみ設定できます。
※「超高感度」「高感度」のときはISO感度が高くなるため暗い所でも撮影できますが、ノイズが目立つ場合があります。

動画撮影（ファイルサイズ）

500KB：500Kバイトまで

2MB：2Mバイトまで

10MB：10Mバイトまで

無制限：無制限(microSDのみ)

⑧ その他

静止画撮影

セルフタイマー設定※1→P.247

位置情報付加

画像に付加する位置情報について設定します。

- 現在地確認から付加
  現在の位置情報を取得し付加します。
- 位置履歴から付加
  位置履歴から位置情報を付加します。
- 電話帳から付加
  電話帳に登録されている位置情報を付加します。
- マイプロフィールから付加
  プロフィールに登録されている位置情報を付加します。
- 位置情報詳細※2
  付加した位置情報の詳細を確認します。
- 位置情報削除※2
  位置情報を削除します。

撮影設定※3

以下の項目を設定します。

- 顔登録（アルバム用）→P.244
- 連写設定※4→P.242
  連続撮影時の撮影間隔と枚数を設定します。
- スマイルレベル※5
  シャッターが切れる笑顔のレベルを「レベル3、レベル2、レベル1(微笑)」から選択します。
- 自動アルバム振分け※6→P.341

エフェクト／調整

以下の項目を設定します。

- エフェクト
  撮影する画像の効果を「フルカラー（通常の色調）、セピア（古い写真風）、白黒（モノクロ）」から選択します。
- フレーム※7→P.239
- ちらつき軽減※8
  撮影画面のちらつきを抑えます。「オート、モード1（50Hz地域）、モード2（60Hz地域）」から選択します。
  ※東日本は50Hz地域、西日本は60Hz地域です。
- ホワイトバランス※9
  撮影する画像の色合い補正を「オート、晴天（晴れた屋外での撮影に適した設定）、曇天（曇った屋外での撮影に適した設定）、電球（白熱電球の明かりの下での撮影に適した設定）、蛍光灯（蛍光灯の明かりの下での撮影に適した設定)」から選択します。

保存／画質

以下の項目を設定します。

- 自動保存※10
  撮影後「保存先」で設定した保存先に自動保存するかしないか（ON、OFF）を設定します。
- 保存先
  撮影した画像の保存先を設定します。
- 画質
  撮影する画像の画質を「スーパーファイン（最高画質、ファイルサイズ：大)、ファイン（高画質、ファイルサイズ：中)、ノーマル（標準画質、ファイルサイズ：小)」から選択します。
- 保存容量確認
  保存容量（目安）を確認します。

シャッター音※11

シャッター音を選択します。

その他機能※3

以下のカメラモードに切り替えます。

- バーコードリーダー
  →P.411
- アートフォトモード
  →P.243

※1 自分撮り撮影画面、スマイル撮影画面のときは利用できません。
※2 位置情報が付加されていないときは操作／設定できません。
※3 アートフォトモード撮影画面のときは操作／設定できません。
※4 連続撮影撮影画面でのみ操作／設定できる機能です。
※5 スマイル撮影画面でのみ操作／設定できる機能です。
※6 クイックショット撮影画面、連写撮影画面のときは操作／設定できません。
※7 静止画撮影画面、自分撮り撮影画面、スマイル撮影画面で、サイズがフルスクリーン（480×854または854×480）以下のときのみ操作／設定できる機能です。
※8 静止画撮影画面、クイックショット撮影画面では、ISO感度が「超高感度」のときは操作／設定できません。
※9 静止画撮影画面、自分撮り撮影画面、連写撮影画面、スマイル撮影画面では、シーンが「OFF」以外のときは操作／設定できません。クイックショット撮影画面では、シーンが「スポーツ」のときは操作／設定できません。

※10 クイックショット撮影画面、アートフォトモード撮影画面では操作／設定できません。

※11 クイックショット撮影画面、連写撮影画面で撮影間隔が「0.1秒」のときは利用できません。

動画撮影

セルフタイマー→P.247

エフェクト／調整※1

P.235（サブメニュー項目）

保存／画質

以下の項目を設定します。

- 自動保存※2
  録画後「保存先」で設定した保存先に自動保存するかしないか（ON、OFF）を設定します。
- 保存先
  撮影した動画の保存先を設定します。
- 画質／音質※3
  録画する動画の画質／音質を「低品質、標準、高品質、最高品質」から選択します。
  「低品質」は、録画時間は最も長くなりますが、画質は最も低くなります。これに対し「最高品質」は、画質は最も高くなりますが、録画時間は最も短くなります。
- 記録種別※3
  「映像＋音声、映像のみ、音声のみ」から選択します。
- 保存容量確認
  保存容量（目安）を確認します。

ムービーシャッター音※4

シャッター音を選択します。

その他機能

以下のカメラモードに切り替えます。

- バーコードリーダー
  →P.411
- アートフォトモード
  →P.243

※1「記録種別」を「音声のみ」に設定している場合は、利用できません。

※2 ファイルサイズが「無制限」の場合は、操作／設定できません。

※3 スピードムービーのときは、操作／設定できません。

※4「記録種別」を「音声のみ」に設定している場合は、「録音開始音選択」となります。

おしらせ

<手ブレ補正>

◆本機能はあくまでも手ブレを軽減するものであり、効果は被写体や撮影条件によって異なります。

◆被写体の一部が動いていると、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は本機能を「OFF」に設定して撮影してください。

<位置情報付加>

◆「位置情報付加」を行った場合、カメラを終了しないで引き続き撮影した画像にも、同じ位置情報が付加されます。

<画質／音質>

◆「記録種別」を「音声のみ」に設定している場合は、「低品質」、「高品質」を設定できません。

◆スピードムービーのときは、「高品質」に固定されます。

<記録種別>

◆スピードムービーのときは、「映像のみ」に固定されます。

<ムービーシャッター音（録音開始音選択）>

◆ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

静止画を撮影する

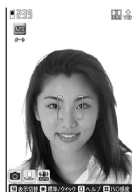
静止画撮影

1 [カメラ]▶[1]▶「標準」

■ メインメニューからの表示方法

「カメラボタン設定」（P.396）で[カメラ]ボタンのショートカット機能を変更した場合、以下の方法で表示します。

▶[MENU]▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「カメラ」▶「静止画撮影」▶[1]▶「標準」



静止画撮影画面

■ ピントをあわせたい箇所が画面の中央ではない場合

▶[3]▶オートフォーカスの種別を選択▶ ピントをあわせる箇所をフォーカス枠の中央にし[□]▶撮影したい構図になるように、カメラの向きを変更▶[■]［シャッター］

オートフォーカスロックが完了すると、フォーカス枠が緑色になり、オートフォーカスロック完了音が鳴ります。

オートフォーカスロックに失敗すると、フォーカス枠が赤くなります。再度[□]を押すとオートフォーカスロックし直すことができます。

オートフォーカスロックを解除するには、[CLR]を押します。

■ 複数の顔を検出した場合（顔選択モード）
▶[ ]（1秒以上）▶[ ]［前枠］または[ ]［次枠］で優先してピントをあわせたい人物の顔にフォーカス枠（白枠）を移動▶[ ]（1秒以上）
- 「オートフォーカス」が「顔検出」のときに操作できます。

2 カメラを被写体に向ける▶[■]［シャッター］



静止画撮影確認画面（サブメニュー→P.238）

■ 撮影し直す場合
▶[CLR]

■ 撮影した画像を拡大表示する場合
▶[ ]［Zoom］
[ ]［＋］／[MENU]［－］を押すたびに1段階ずつ拡大／縮小します。
[ ]［等倍］を押すと画像を等倍表示します。

3 [■]［保存］

おしらせ

◆画像サイズによっては画質が粗くなる場合があります。

オートフォーカス撮影について

オートフォーカス撮影には、撮影時（セルフタイマーを使って撮影するときはタイマー開始時）にピントをあわせる「シングルオートフォーカス」と、被写体に連続してピントをあわせ続ける「コンティニュアスオートフォーカス」があります。

■顔検出撮影（オートフォーカスON）
カメラを被写体に向けると、人物の顔を検出して自動的に白いフォーカス枠が移動し、ピントと露出をあわせます。
- 顔検出オートフォーカス撮影は以下の条件で利用できます。
  - カメラモードが「標準」で、シーンが「オート」、「人物」、「逆光」、「OFF」で、サイズがフルスクリーン（480×854または854 ×480）以上のとき
  - カメラモードが「クイックショット」で、シーンが「オート」で、サイズがフルスクリーン（480×854または854×480）以上のとき
- 人物の顔は同時に5人まで検出できます。複数の顔を検出した場合は、顔の大きさや位置にあわせてカメラがピントをあわせる顔を自動的に判断します。また、優先してピントをあわせたい人物の顔を選択できます。
  顔選択モードについて→P.237
  ピントをあわせる顔のフォーカス枠は白色で表示され、それ以外の顔のフォーカス枠は灰色で表示されます。
- 人物の顔を検出できなかった場合や画面に人物の顔が映っていない場合は、オートフォーカス撮影になります。

■スマイルモード撮影（オートフォーカスON）
カメラを被写体に向けると、人物の顔を検出して自動的に白いフォーカス枠が移動し、ピントと露出をあわせます。シャッターボタンを押すとフォーカス枠がピンク色に変わり、フォーカス枠があたっている人物が笑顔になると自動的にシャッターが切れます。

■自分撮り撮影（オートフォーカスON）
カメラを自分に向けると、あらかじめ設定した撮影位置を自動で検出し、自分の顔がおさまったときにランプと音でお知らせし、ピントをあわせます。ブレを防ぐためシャッターボタンを押した1秒後に撮影します。

■オートフォーカス撮影（オートフォーカスON）
画面の中央に自動的にピントをあわせて撮影します。カメラの向きを変えて被写体を変更した場合などは、自動的にピントが再調整されます。

■接写撮影（オートフォーカスON）
画面の中央のごく近くにある被写体（ないときはレンズからの距離が約10cm）に、自動的にピントをあわせて撮影します。カメラの向きを変えて被写体を変更した場合などは、自動的にピントが再調整されます。
- 接写撮影は、カメラモードが「標準」「クイックショット」で、シーンが「オート」「ＯＦＦ」のときに利用できます。また、カメラモードが「連写」「パノラマ」「ムービー」「アートフォトモード」のときにも利用できます。

■固定焦点撮影（オートフォーカスOFF）
オートフォーカス機能を利用しないで撮影します。

■オートフォーカスロック撮影（オートフォーカスON）
ピントをあわせたい箇所が画面の中央ではないとき、あらかじめ被写体にピントをあわせ、構図を変更して撮影します。

おしらせ

◆以下のような場合は顔検出できないことがあります。
- 顔が横や斜めを向いている場合
- 顔が傾いている場合
- めがねや帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている場合
- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、明るいまたは暗い場合

◆顔検出オートフォーカス機能のフォーカス距離は、3m以内です。

◆オートフォーカスのフォーカス距離は、10cm以上です。

◆以下のような場合はピントが合わないことがあります。
- 暗い場所で撮影する場合
- コントラストが弱い（明暗差のない）被写体を撮影する場合
- 遠いものと近いものが混在する被写体を撮影する場合
- 撮影範囲内にライトなどがある場合
- 動いている被写体を撮影する場合
- FOMA端末を動かしながら撮影する場合

◆オートフォーカスロックが完了するまでに時間がかかることがあります。

◆オートフォーカスロックが完了すると、カメラの露出も固定されます。オートフォーカスロックを完了してからカメラを動かすとカメラの明るさが適さないときがあります。そのような場合は再度オートフォーカスロックし直すか、明るさを調整してください。

サブメニュー

❖静止画撮影確認画面（P.237）
❖自分撮り撮影確認画面（P.241）
❖連続撮影詳細表示確認画面（P.241）
❖パノラマ撮影確認画面（P.243）
❖スマイルモード撮影確認画面（P.243）
❖アートフォトモード撮影確認画面（P.244）

保存※1…「保存先」で設定したフォルダに保存します。

鏡像保存※2※3※4…撮影した静止画を、左右を反転させて「保存先」で設定したフォルダに保存します。

メール作成※3…P.239
静止画撮影確認画面で✉［✉/Blog］を押してもｉモードメールやブログ投稿用のメールを作成することができます。
また、撮影した静止画は「保存先」で設定したフォルダに保存されます。

機能利用※3※4…以下の機能を利用します。
- **アートフォトモード**※5…P.243
- **ｉアプリで画像利用**※5…「ソフト設定」の「マイピクチャから起動」で設定されたｉアプリを起動して、静止画の編集などをします。
- **顔登録（アルバム用）**※5※6…P.244
- **メモ作成**…P.415

ピクチャ貼付※3※4※5※7…撮影した静止画を待受画面などに設定します。

フレーム取替え※3※4※5※8…P.239

鏡像表示⇔正像表示※9…確認画面の画像を鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

保存先※5…撮影した画像の保存先を設定します。

ファイル制限…撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.335

位置情報付加※5…P.235

取り消し※5…撮影した静止画を削除して静止画撮影画面に戻ります。

※1 アートフォトモード撮影確認画面では、「確定」となります。
※2 静止画撮影確認画面、スマイルモード撮影確認画面で、フレームを重ねて撮影したときは操作／設定できません。
※3 アートフォトモード撮影確認画面のときは操作／設定できません。
※4 パノラマ撮影確認画面のときは操作／設定できません。
※5 連続撮影詳細表示確認画面では操作／設定できません。
※6 静止画撮影確認画面で、サイズがQVGA縦（240×320または320×240）以下のときは操作／設定できません。
※7 静止画撮影確認画面、自分撮り撮影確認画面、スマイルモード撮影確認画面で、サイズがフルHD（1,080×1,920）以上のときは操作／設定できません。
※8 静止画撮影確認画面、スマイルモード撮影確認画面、自分撮り撮影画面で、フレームを重ねて撮影したときのみ操作／設定できます。
※9 パノラマ撮影確認画面、アートフォトモード撮影確認画面のときは利用できません。

おしらせ

<ピクチャ貼付>

◆待受画面などに設定する静止画は「保存先」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDカードには保存されません）。

フレームを重ねて撮影する

フレーム撮影

●内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 静止画撮影画面（P.236）▶8▶「エフェクト／調整」▶「フレーム」▶フレーム選択

■ フレーム撮影を解除する場合
▶「OFF」

2 カメラを被写体に向ける▶■［シャッター］

フレーム撮影確認画面が表示されます。

■ 保存する前にフレームを変更する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「フレーム取替え」
カメラキー［回転］を押してフレームを180度回転させることができます。

3 ■［保存］

撮影した静止画または動画を利用してｉモードメールを作成する

撮影した静止画または動画をｉモードメールに添付したり、ブログ投稿用のメールを作成します。

1 静止画撮影確認画面（P.237）、自分撮り撮影確認画面（P.241）、連続撮影詳細表示確認画面（P.241）、パノラマ撮影確認画面（P.243）、スマイルモード撮影確認画面（P.243）、動画撮影確認画面（P.245）、録音確認画面（P.410）▶メール［/Blog］▶以下の項目から選択

画像添付※1※2※3…画像をメールに添付します。
- **そのまま添付**…画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。
- **サイズ中（640×480）**※4※5…画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイルサイズを変更して添付します。
- **サイズ小（320×240）**※5…画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイルサイズを変更して添付します。

ブログ投稿※1※3…画像をブログに投稿します。
- **そのまま添付**…画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。
- **サイズ中（640×480）**※4※5…画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイルサイズを変更して添付します。
- **サイズ小（320×240）**※5…画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイルサイズを変更して添付します。

※1 サイズがQVGA縦（240×320または320×240）以下のときは「そのまま添付、サイズ中、サイズ小」の選択画面は表示されません。
※2 動画撮影確認画面、録音確認画面のときは「動画添付」と表示されます。
※3 動画撮影確認画面、録画確認画面のときは「そのまま添付、サイズ中、サイズ小」の選択画面は表示されません。
※4 サイズがVGA（480×640または640×480）のときは選択できません。
※5 パノラマ撮影確認画面の場合は選択できません。

2 メールを作成

ｉモードメールの作成→P.150

おしらせ

◆「ブログ・メールメンバー」でブログ投稿先アドレスが設定されていると、「ブログ投稿」でメール作成するときに宛先が自動で入力されます。
→P.161

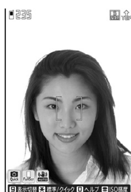
◆8M（最大）で撮影した静止画がメール添付可能な容量（2Mバイト）を超えてしまった場合、「画像添付」または「ブログ投稿」の「そのまま添付」を選択するとメール添付可能なサイズ5Mにリサイズします。

クイックショットで撮影する

クイックショット

クイックショットでは、撮影確認画面を表示させずに少ない操作で静止画を撮影・保存します。

1 📷▶1▶**「クイックショット」**



クイックショット撮影画面

2 **カメラを被写体に向ける▶■［シャッター］**

「保存先」で設定したフォルダに自動保存され、撮影画面に戻ります。

おしらせ

◆電池残量が少ないときはクイックショットができません。前回起動時にカメラモードを「クイックショット」に選択しても自動的に「標準」に切り替わることがあります。

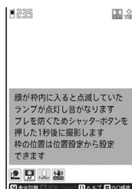
◆クイックショットは画像調整を行わずに撮影するため、より早く次の写真を撮影することができます。
よりきれいに撮影したいときはカメラモードを「標準」にしてください。

自分撮りで撮影する

自分撮り

撮影位置を自動で検出し、簡単に自分自身を撮影することができます。

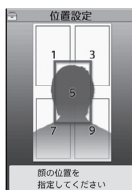
1 📷▶1▶**「自分撮り」**



自分撮り撮影画面

■ **顔の撮影位置を変更する場合**

▶📷［位置設定］▶顔の位置を指定▶■［選択］
位置設定が太枠で表示されます。撮影したい顔の位置を✣で移動し、選択してください。
※ 枠内に表示された数字のダイヤルボタンを押して位置を選択することもできます。



位置設定画面

設定した位置が自分撮りの撮影位置となり、自動検出されます。

2 **カメラを自分に向ける▶ランプが点灯し、アシスト音が鳴っている状態で■［シャッター］**

顔が枠内に入ると点滅していたランプが点灯してアシスト音が鳴り、シャッターボタンを押した1秒後に撮影します。
• アシスト音とは、1秒間隔で鳴る音のことです。



自分撮り撮影確認画面（サブメニュー→P.238）

3 ■［保存］

おしらせ

◆「アートフォトモード」、「顔登録（アルバム用）」からも起動することができます。
◆自分撮りは、「動画撮影」では利用できません。

連続撮影する

連写

最大108枚の静止画を連続撮影します。

- 連続撮影は、シャッターを切ると、設定した撮影枚数と撮影間隔で自動的に撮影する機能です。連続撮影の場合、オートフォーカス機能で撮影できるのは最初の1枚のみです。2枚目以降は1枚目であわせたフォーカス位置での撮影となります。
- 連続撮影した静止画を、自作アニメに登録してアニメーションとして楽しむこともできます。
- 連続撮影中にFOMA端末を閉じると、撮影が終了します。

1 📷▶1▶「連写」

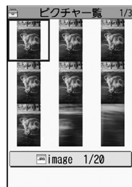


連続撮影画面

■ **ピントをあわせたい箇所が画面の中央ではない場合**

「静止画を撮影する」操作1→P.236

2 カメラを被写体に向ける▶■［連写］



連続撮影確認画面（サブメニュー→P.242）

■ **連続撮影を中止する場合**

▶📷［中止］またはCLRまたは━▶「NO」

■ **保存する静止画を選択する場合**

操作3の前に、あらかじめ保存する画像を選択しておきます。

■ **詳細表示で確認する場合**

▶✥で囲み枠を確認する画像に移動▶📷［詳細］

✥で確認する静止画を切り替えることができます。



連続撮影詳細表示確認画面（サブメニュー→P.238）

■ **詳細表示した静止画を1件のみ保存する場合**

▶■［保存］

3 MENU［サブメニュー］▶保存する方法を選択

「選択保存」「全保存」「全保存＆自作アニメ」のいずれかを選択します。→P.242

「保存先」で設定されているフォルダに保存されます。

「選択保存」を選択した場合、画像の保存が終了すると、保存した画像を除いた連続撮影確認画面が表示されます。

- 連続撮影確認画面で、🔋［SAVE LONG ALL SAVE］を短く（1秒未満）押すと選択保存となります。🔋［LONG ALL SAVE］または🔋［SAVE LONG ALL SAVE］を1秒以上押すと全保存となります。

おしらせ

◆強い光源や動きが大きいものを被写体として撮影する場合、撮影間隔が設定した時間よりも長くなることがあります。

● 撮影間隔と撮影枚数を設定する

1 連続撮影画面（P.241）▶[8]▶「撮影設定」▶「連写設定」▶以下の項目から選択

撮影間隔…撮影する間隔を「0.1秒、0.5秒、1.0秒、2.0秒」から選択します。

枚数…撮影する枚数（005～108枚の3桁）を入力します。
最大撮影枚数はサイズによって変わります。画像サイズがフルスクリーン（480×854または854×480）の場合は005～027枚の3桁の入力となります。

2 設定が終わったら[CLR]▶[CLR]▶[CLR]

連続撮影画面に戻ります。

サブメニュー

❖連続撮影確認画面（P.241）

選択保存…☑を付けた静止画を保存または鏡像保存します。

全保存…撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存します。

全保存＆自作アニメ…撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存し、自作アニメにも登録します。

1件選択、全選択…囲み枠のある静止画またはすべての静止画に☑を表示して選択状態にします。

1件解除、全解除…囲み枠のある静止画またはすべての静止画の☑が消えて選択状態を解除します。

鏡像表示⇔正像表示…確認画面の画像を、鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

保存先…撮影した画像の保存先を設定します。

選択ファイル制限…☑を付けた静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.335

全ファイル制限…撮影したすべての静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.335

位置情報付加…P.235

取り消し…撮影した静止画をすべて削除して連続撮影画面に戻ります。

おしらせ

<全保存＆自作アニメ>

◆「保存先」で「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDカードには保存されません）。

パノラマで撮影する

パノラマ

FOMA端末を横方向に動かし、連続して画像を取り込むことにより、1枚のパノラマ写真を自動的に作成できます。

- 撮影中にFOMA端末が上下にぶれると、パノラマ写真の上下が狭くなったり、歪みが出ることがあります。
- 動いているものはうまく撮影できないことがあります。
- 被写体が単純な模様だったり、模様がない場合などは撮影に失敗する場合があります。

1 [📷]▶[1]▶「パノラマ」



パノラマ撮影画面

2 [■]［シャッター］



パノラマ撮影中画面

パノラマ撮影が開始されます。パノラマ撮影したい範囲でFOMA端末を左右どちらか一方に動かしてください。緑色の線を撮影ガイダンスにあわせて、できるだけ水平に動かします。
FOMA端末を移動させる速度は、画面に「GOOD」が表示されるように動かしてください。速い場合は「FAST」が表示され、正確なパノラマ撮影ができません。
保存可能容量に達した場合は、自動的に撮影が終了し、パノラマ撮影確認画面が表示されます。

3 ■［終了］



パノラマ撮影確認画面（サブメニュー→P.238）

■ 撮影し直す場合

▶CLR

■ 撮影した画像を拡大表示する場合

▶📷［Zoom］

📷［＋］／MENU［－］を押すたびに１段階ずつ拡大／縮小します。

📱［等倍］を押すと画像を等倍表示します。

4 ■［保存］

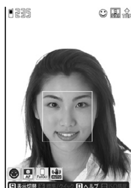
スマイルモードで撮影する

スマイル

カメラが笑顔を検出して、自動でシャッターを切ります。

●シャッターが切れる笑顔のレベル（スマイルレベル）を設定できます。→P.235

1 📷▶１▶「スマイル」



スマイルモード撮影画面

2 カメラを被写体に向ける▶■［スマイル］

フォーカス枠があたっている人物が笑顔になるとシャッターが自動的に切れます。笑顔の検出中は☺が点滅します。



スマイルモード撮影確認画面（サブメニュー→P.238）

■ 撮影し直す場合

▶CLR

■ 笑顔の検出を中断する場合

▶📷［中止］

■ 笑顔が検出される前に撮影する場合

▶■［シャッター］

3 ■［保存］

おしらせ

◆フォーカス枠が表示されずにシャッターが切れる場合があります。

アート風な写真を撮影する

アートフォトモード

アート風な画質加工とフレーム合成した静止画が撮影できます。撮影後やマイピクチャ内の静止画などからも画像編集のｉアプリを使って手書き風の画像を入れるなど、いろいろな楽しみかたができます。

1 MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「カメラ」▶「アートフォトモード」

2 「カメラで撮影」を選択



アートフォトモード撮影画面

■ 撮影せずにマイピクチャ内の静止画を合成する場合

▶「マイピクチャから選択」▶マイピクチャから画像を選択▶■［確定］

3 カメラを被写体に向ける▶■［シャッター］



アートフォトモード撮影確認画面（サブメニュー→P.238）

4 撮影した画像を確認して■［確定］

5 ■［確定］▶利用方法を選択

i アプリで編集…撮影した静止画を「ソフト設定」の「マイピクチャから起動」で設定されたｉアプリを起動して編集します

メール／ブログ…撮影した静止画をメールに添付したりブログに投稿します。

- **画像添付**…P.239
- **ブログ投稿**…P.239

保存して終了…撮影した静止画を保存し、アートフォトモードを終了します。

■ **撮影し直す場合**

▶CLR▶「YES」

顔登録機能を利用する

顔登録（アルバム用）

あらかじめFOMA端末に顔画像を登録すると、端末内のJPEG形式画像に対して登録した顔画像を検索することができます。

- 顔画像は、最大10件登録できます。
- 登録した顔画像を利用して、パーソナルアルバムに設定することができます。→P.341
- カメラのレンズが汚れていたりすると誤動作の原因になります。柔らかい布で汚れを取り除いてからご使用ください。
- 顔の状態によって認識率が低下することがありますが、次の対処方法で改善される場合があります。

認識率が低下する条件	対処方法
光が強く当たったり、暗い場所の電灯下など、顔の明るい部分と暗い部分の差が大きい	顔に当たる光が一定になるように、均一な明るさになるような場所に移動してください。
顔に光が当たり顔全体が白くなる	
髪やめがね、マスクなどにより顔の特徴（目・鼻・口・眉など）がはっきり見えない	目・鼻・口・眉がはっきり見えるように髪をあげたり、めがねやマスクなどを取ってください。

撮影した顔画像を登録する

1 MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「カメラ」▶「顔登録（アルバム用）」



アルバムテーマ一覧画面

2「未登録」を選択▶［顔設定］▶「カメラで撮影」を選択

■ **マイピクチャの画像から選択する場合**

▶「マイピクチャから選択」

3 カメラを被写体に向ける▶■［シャッター］▶■［確定］▶■［確定］▶■［選択］▶名前を入力▶［完了］

撮影した画像に名前を登録します（最大全角16文字）。

登録した名前はあとで編集することができます。

■ **マイピクチャから選択した場合**

▶登録したい画像を選択▶■［確定］▶■［選択］▶名前を入力▶［完了］

■ **複数の顔を検出した場合（顔選択モード）**

▶［前枠］または［次枠］で登録したい人物の顔にフォーカス枠（緑枠）を移動▶■［確定］▶■［選択］▶名前を入力▶［完了］

おしらせ

◆登録データ1件につき、顔画像は最大3枚登録できます。

◆アルバムテーマ一覧画面の各アイコンは変更できません。

● 登録した顔画像を削除する

1 アルバムテーマ一覧画面（P.244）▶MENU［サブメニュー］▶「解除」▶「1件解除」または「全解除」

おしらせ

◆アルバムテーマ一覧画面のサムネイル画像は、アルバムテーマ詳細画面にて、最後に📷［完了］を選択した画像が表示されます。
◆顔登録の画面（アルバムテーマ一覧画面など）は縦画面表示となり、横画面表示にはできません。

登録した画像を表示する

1 アルバムテーマ一覧画面（P.244）▶でアルバムテーマを反転▶■［選択］

画像が複数登録されている場合、でアルバムテーマを切り替えることができます。

■ 登録した画像を変更する場合

アルバムテーマ一覧画面（P.244）▶変更したいアルバムテーマを反転▶■［選択］▶［顔設定］▶「YES」▶画像の登録方法を選択▶新しいアルバムテーマを登録

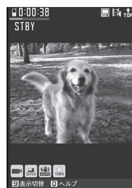
動画を撮影する

動画撮影

●「サイズ」を「HD」に設定した場合、FOMA端末を左へ90度傾けて、TOPが上を向いた状態で録画してください。
●「ファイルサイズ」を「無制限」に設定した場合、撮影後microSDカードに自動で保存されます。録画した動画を確認する場合は、データBOXからデータを選択し確認してください。→P.344
●撮影時間は撮影条件によって異なります。
●通話中は動画撮影できません。
●動画撮影中にFOMA端末を閉じると、撮影が終了します。
●以下の設定で撮影することで、動画再生に対応したすべてのFOMA端末で再生できます。

機能	設定
サイズ	QCIF（176×144）
画質／音質	標準、高品質
ファイルサイズ	500KB

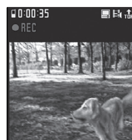
1 📷▶✉［ムービー］



動画撮影画面

2 カメラを被写体に向ける▶■［録画開始］

撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。



動画撮影中画面

■ 撮影を一時停止する場合

▶📷［●/II］
撮影を再開する場合は📷［●/II］を押します。

■ ファイルサイズで設定した容量になった場合

▶「OK」

3 ■［録画終了］



動画撮影確認画面（サブメニュー→P.246）

■ 撮影した動画を再生して確認する場合

▶📷［再生］

■ 録画し直す場合

▶CLR

4 ■［保存］

おしらせ

◆動画撮影中は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。撮影時の音の大きさや周囲の環境によっては、音質が悪くなる場合があります。
◆動画撮影中にズーム調節などのボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

サブメニュー

❖動画撮影確認画面（P.245）

再生…撮影した動画を再生します。
保存…撮影した動画を「保存先」で設定したフォルダに保存します。
メール作成…撮影した動画を添付したｉモードメールを作成します。→P.150、239
動画撮影確認画面で✉［✉/Blog］を押しても動画を添付したｉモードメールの作成、ブログ投稿用のメールを作成することができます。
また、撮影した動画は「保存先」で設定したフォルダに保存されます。
待受画面設定…撮影した動画を待受画面に設定します。
タイトル編集…タイトルを編集します。
保存先…P.236
ファイル制限…撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.335
取り消し…撮影した動画を削除して動画撮影画面に戻ります。

おしらせ

<待受画面設定>
◆待受画面に設定する動画は、「保存先」で「microSD」に設定している場合も、本体のｉモーション･ムービーのカメラフォルダに保存されます（microSDカードには保存されません）。

動きの速い被写体をスローモーションで撮影する

スピードムービー

動きの速い被写体を確認したいときなどに利用します。再生はスローモーションになります。
●FOMA端末を左へ90度傾けて、TOPが上を向いた状態で録画してください。

1 動画撮影画面（P.245）▶1▶「スピードムービー」

2 カメラを被写体に向ける▶■［録画開始］

撮影が開始されます。

■ 撮影を一時中止する場合
▶📷［●/II］
撮影を再開する場合は📷［●/II］を押します。

■ ファイルサイズで設定した容量になった場合
▶「OK」

3 ■［録画終了］

■ 撮影した動画を再生して確認する場合
▶📷［再生］

■ 録画し直す場合
▶CLR

4 ■［保存］

撮影時の設定を変える

ズームやセルフタイマーの設定などを行います。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像の大きさを調節します。
●ズームはデジタルズームです。
●本機能はスピードムービーでは利用できません。

1 各撮影画面▶[ズームキー]でズームを調節
[ズームキー]を押すたびに1段階ずつ変化し、1秒以上押すと連続的に変化します。

■ズームの画像サイズ別最大倍率

サイズ	静止画撮影	動画撮影
16段階調節		
8M	約4.0倍	−
5M		
2M※1		
フルHD		
HD	−	約4.0倍
フルスクリーン	約4.0倍	−
パノラマ		
VGA縦		
VGA		約4.0倍
ワイド	−	
480×480※2	約9.8倍	−
QVGA縦		
QVGA		約9.8倍
240×240※2		−
QCIF縦		
QCIF		約9.8倍

※1 手ブレ補正オートはありません。
※2 iアプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

ライトを点灯する

部屋の中などで光量が不足しているときは、FOMA端末のライトを点灯すると被写体をより明るくして撮影することができます。ライトを点灯し、約30秒間撮影しないとライトが自動的に消灯します。

1 各撮影画面▶[カメラキー]
[カメラキー]を押すたびにON／OFFが切り替わります。
[下キー]［☼］を押しても切り替えることができます。

おしらせ
◆電池残量が少ないときは、ライトを点灯できません。
◆動画撮影時のライトの連続点灯時間は、最大約5分です。
◆動画撮影時に「記録種別」を「音声のみ」に設定している場合、ライトは使用できません。
◆本機能は補助的なものであり、いつでも十分な光量が得られるとは限りません。

セルフタイマーを使う

●撮影終了後、セルフタイマーは「OFF」に戻ります。

1 各撮影画面▶[8]▶「セルフタイマー」▶「ON」▶セルフタイマーの時間（01～15秒の2桁）を入力

● セルフタイマーを設定すると

ディスプレイに「[セルフタイマーアイコン]」が表示され、セルフタイマーが設定されていることを示します。
[■]を押して撮影を開始すると、セルフタイマーの開始音が鳴ってセルフタイマーが動作をはじめます。撮影認識ランプが青色で点滅し、ディスプレイの「[セルフタイマーアイコン]」も点滅します。
撮影される約5秒前からカウント音が鳴り、点滅が速くなります。

■セルフタイマーの設定を解除する場合
▶[8]▶「セルフタイマー」▶「OFF」

■タイマーの動作を止める場合
▶[カメラキー]［中止］または[CLR]

おしらせ
◆セルフタイマーのカウント中に[■]を押して手動で撮影することもできます。
◆自分撮り撮影、スマイルモード撮影では、セルフタイマーを利用できません。
◆ピントをあわせたい被写体が画面の中央ではない場合、オートフォーカスロック（→P.237）を使ってあらかじめ被写体にピントをあわせて、セルフタイマー撮影を行ってください。

撮影時にほかの静止画や動画を確認する

撮影時にメディアスビューアを起動して、保存済みの静止画や動画を確認することができます。

●メディアスビューアについて→P.339

●アートフォトモードでは利用できません。

1 **各撮影画面▶ [i] 【再生】**